

AP療法を受けられる方へ

担当薬剤師

婦人科 ID: _____ 様

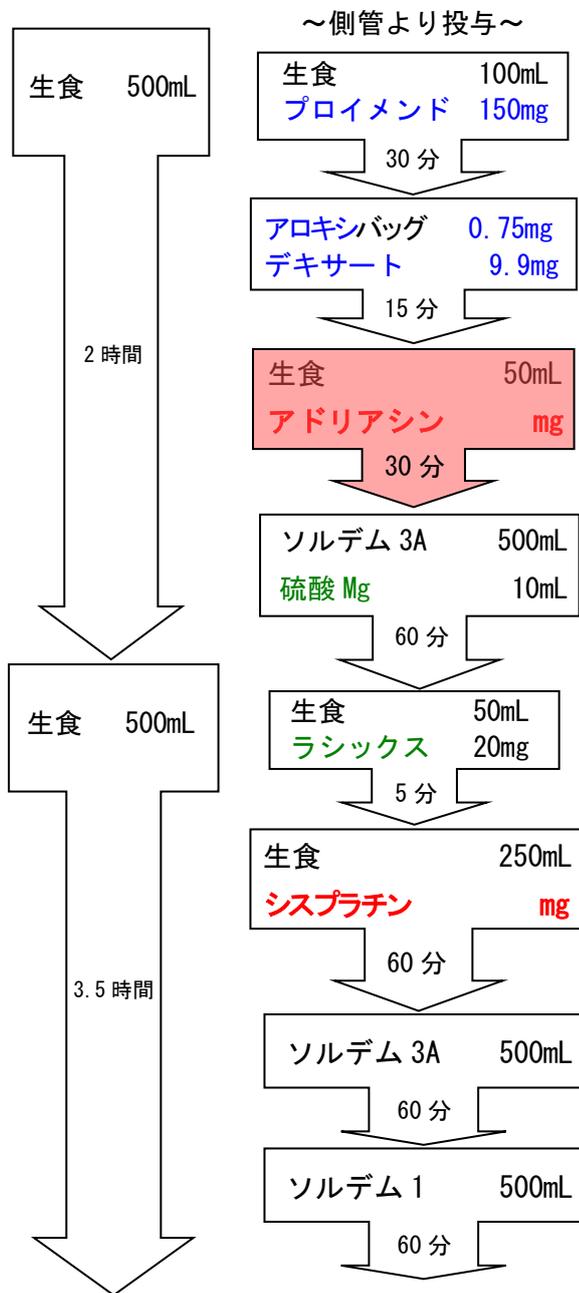
【投与スケジュール】

	1日目	2~21日目
アドリアシン	○	
シスプラチン	○	

☆3週間毎に繰り返し行います。

☆検査の結果によりスケジュールや投与量が
変わることがあります。

【点滴内容】



プロイメンド：吐き気を抑える薬です。

アロキシ：吐き気を抑える薬です。

デキササート：吐き気やアレルギー症状を
抑える薬です。

硫酸 Mg：腎臓を保護する薬です。

ラシックス：尿を出し、抗がん剤による
腎障害を防ぐ薬です。

アドリアシン }：がん細胞の増殖を抑える薬です。
シスプラチン }



【主な副作用と対策】

777アレルギー様症状：お薬を投与することで、アレルギーに似た症状が発現することがあります。息がしにくい、胸が締め付けられる、といった症状がある場合にはすぐに知らせてください。

血管外漏出：針の刺入部の皮膚が赤くなる・腫れる・痛い・熱っぽい・かゆみが出るなどの症状が現れる場合があります。異常を感じたらすぐに知らせてください。

白血球減少：投与後7～14日頃に最も減少すると言われています。白血球が少なくなると、病原菌に対する体の抵抗力が弱くなり、風邪などの感染症を起こしやすくなりますので、うがい・手洗い・マスクといった感染予防を心がけましょう。



赤血球減少：血液の赤い成分が減少することで、めまいやふらつき、疲れやすくなるといった副作用が起こることがあります。十分な休息をとりましょう。

血小板減少：投与後7～21日頃に最も減少すると言われています。原因不明のあざ・鼻血・歯茎からの出血・頭痛などが起こることがあります。出血しやすくなりますので、怪我や転倒には注意してください。

食欲不振・悪心・嘔吐：投与後～7日ほど現れることがあります。あらかじめ吐き気止めを投与していますが、他の薬もありますのでつらい時には申し出てください。また、食事はにほいの少ないもの・冷たいもの・食べられるものを少しずつ、食べられる分だけ摂取するようにしましょう。



脱毛：おおよそ60%の方に脱毛が生じます。投与後2～3週間経つと抜け始めます。治療終了後6ヶ月ほどで生えそろってきます。



便秘：水分を摂取したり、お腹のマッサージをしましょう。下剤や便を軟らかくする薬も使います。



下痢：下痢をしている間は脱水にならないように水分摂取をしましょう。

口内炎：食後に歯磨きをするなど、口の中は清潔に保っておきましょう。

味覚障害：食べ物の味が変わって感じる場合があります。治療が終了すれば徐々に治ります。



色素沈着：皮膚や爪の色が着色してしまうことがあります。治療が終了すれば徐々に元に戻ります。長い時間直射日光にあたらないようにしましょう。

しゃっくり：しゃっくりが出ることがあります。ひどく続いて辛いときにはお薬を使うこともありますので、相談してください。

難聴・耳鳴り：高音域の声や音が聞こえにくかったり、耳鳴りがすることがあります。悪化していくようでしたらお知らせください。



末梢神経障害：手足がしびれたり、痛みがでることがあります。ボタンがかけにくい・字が書きにくいといった症状が出てくるようでしたらお知らせください。

発疹：皮膚が赤くなったり、痒みが出ることがあります。ひどい場合には知らせてください。

疲労感・全身倦怠感：全身がだるくなったり、力が抜けたような感じになることがあります。十分な休息をとりましょう。

心障害：薬の影響で心臓に負担がかかることがあります。普段より息が切れる、動悸がする、締め付けられるような胸の痛みといった症状がある場合には知らせてください。



腎機能の低下：シスプラチンにより、腎臓に負担がかかる場合があります。予防薬や輸液を投与しています。水分摂取は指示通り行ってください。

肝障害：お薬によって肝臓に影響が出る場合があります。

間質性肺炎：非常に稀ですが、薬の影響で肺炎が起こることがあります。咳・発熱・息切れといった症状が続くようでしたらお知らせください。



尿の着色：アドリアシンにより、尿が赤くなるがありますが薬の影響ですので心配いりません。2-3日で元の色に戻ります。

★点滴をした翌日・翌々日には水分（水・白湯・お茶など）を1日1L以上摂りましょう。



【内服薬について】

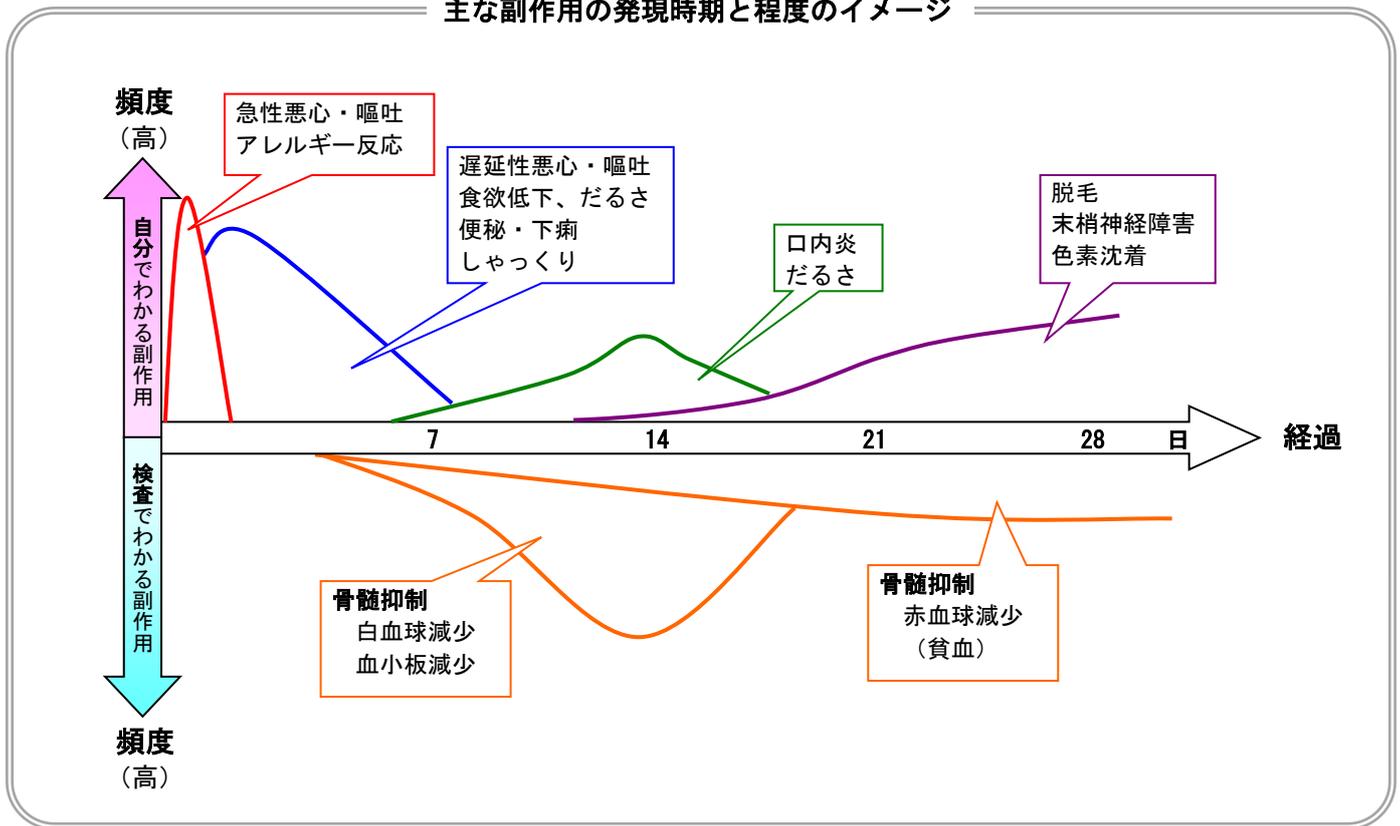
* この治療を受けられる方には、副作用対策として内服薬が処方されます。

デカドロン錠 4mg：1日2回 1回1錠 朝・昼食後（2-4日目）

シスプラチンを投与した翌日から3日間内服してください。
吐き気止めです。



主な副作用の発現時期と程度のイメージ



【日常生活で注意していただきたいこと】

- ① 抗がん薬は投与後しばらくの間、尿や便に残ります。抗がん薬投与後2日間(48時間)は、トイレのふたを閉めて水を2回流しましょう。男性の方は尿の飛び散りを防ぐために座って排尿しましょう。
- ② ご家族が吐物や排泄物を処理する場合には必ず手袋をしましょう。汚染したゴミはビニール袋に入れて口元をしっかりと閉じてから廃棄してください。



副作用の全てが現れるわけではありません。
 また、これら以外の副作用が現れる場合もあります。
 気になる症状がありましたら必ず医師・薬剤師・看護師にご相談ください。
 この説明書はかかりつけ医やかかりつけ薬局薬剤師にもお見せください。



お薬に関する相談先

北信総合病院 (代表)0269-22-2151
 薬剤部 医薬品情報管理室 内線 2530

